

弦楽上達! 四ノ宮めぐり

チェロ・二胡・琴・三味線・三絃・琵琶

「四ノ宮めぐり」の立ち寄りスポット①～⑤については、裏面をご参照ください。

◆4か所の貼り札護符(シール)を集めて! 技芸上達・障害難病克服・縁結「四ノ宮めぐり」◆

弦楽ふるさとマップ

弦楽器と福祉の神様人康親王史跡をめぐる
平安時代初期の仁明天皇の第四皇子で四ノ宮の語源。目をわずらい山科に隠棲しました。和歌を詠んだり、笙や琵琶が得意で後に琵琶法師の祖と仰がれました。

思想家西田天香(にしだてんこう)の資料館「香倉院」があります。

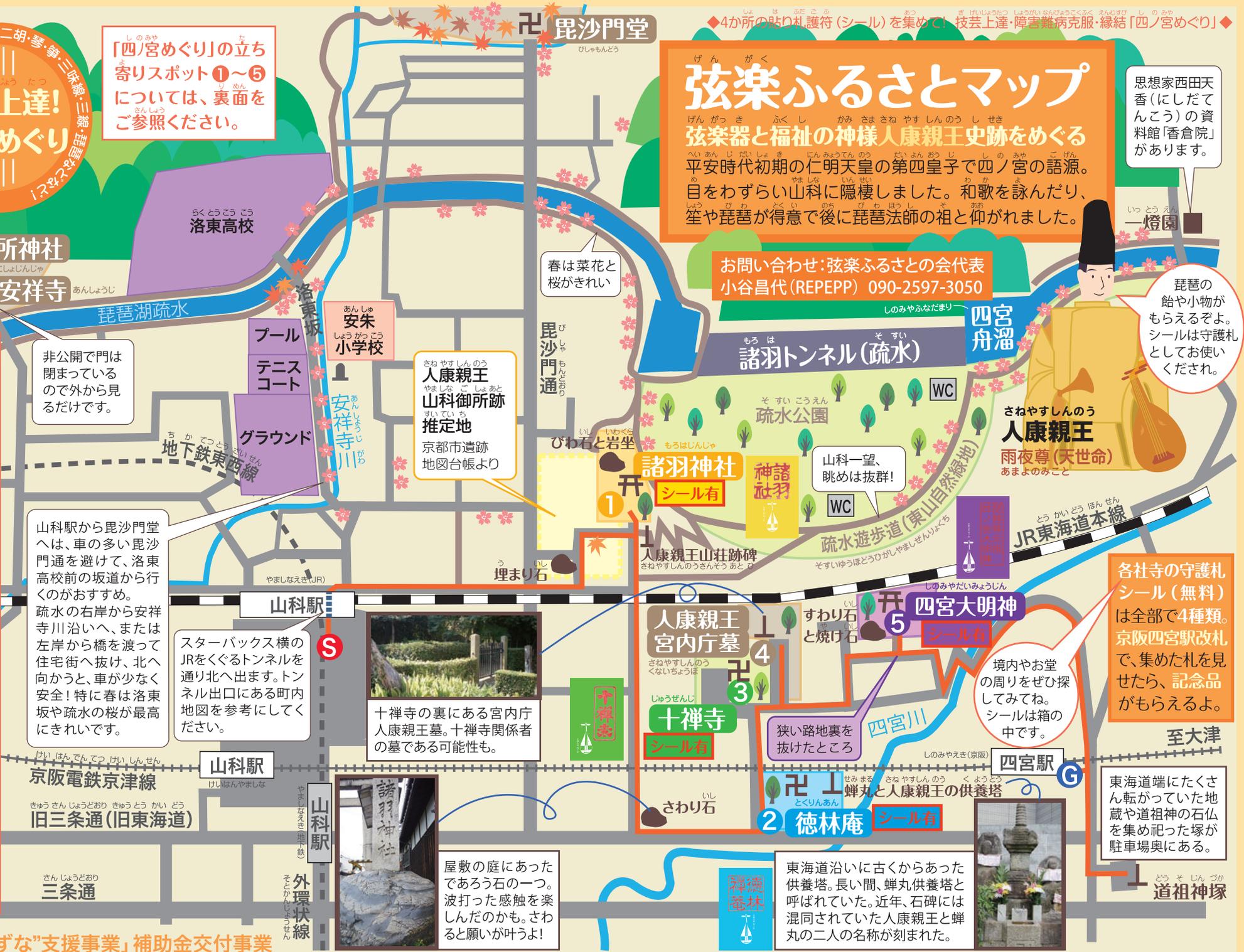
琵琶の飴や小物がもらえるぞよ。シールは守護札としてお使いください。

お問い合わせ:弦楽ふるさとの会代表 小谷昌代(REPEPP) 090-2597-3050



さねやすしんのう 人康親王 雨夜尊(天世命) あまよのみこと

- 5の祠下に記念品引換券。必要事項(氏名必須)を記入の上、四枚のシールを駅で見せてください。
- START JR・京阪・地下鉄 やましなえき **山科駅** 徒歩 8分
 - ① **諸羽神社** 徒歩 8分
 - ② **徳林庵** 徒歩 2分
 - ③ **十禅寺** 徒歩 すぐ
 - ④ **人康親王 宮内庁墓** 徒歩 2分
 - ⑤ **四宮大明神** 徒歩 7分
 - GOAL 京阪 **四宮駅**



非公開で門は閉まっているので外から見るだけです。

山科駅から毘沙門堂へは、車の多い毘沙門通を避けて、洛東高校前の坂道から行くのがおすすめ。疏水の右岸から安祥寺川沿いへ、または左岸から橋を渡って住宅街へ抜け、北へ向かうと、車が少なく安全! 特に春は洛東坂や疏水の桜が最高にきれいです。

スターバックス横のJRをくぐるトンネルを通り北へ出ます。トンネル出口にある町内地図を参考にしてください。

十禅寺の裏にある宮内庁人康親王墓。十禅寺関係者の墓である可能性も。



屋敷の庭にあったであろう石の一つ。波打った感触を楽しんだのかも。さわると願いが叶うよ!

春は菜花と桜がきれい

人康親王 山科御所跡 推定地 京都市遺跡 地図台帳より

人康親王 宮内庁墓

徳林庵 シール有

四宮大明神 シール有

各社寺の守護札シール(無料)は全部で4種類。京阪四宮駅改札で、集めた札を見せたら、記念品がもらえるよ。

境内やお堂の周りをぜひ探してみてください。シールは箱の中です。

東海道沿いに古くからあった供養塔。長い間、蟬丸供養塔と呼ばれていた。近年、石碑には混同されていた人康親王と蟬丸の二人の名称が刻まれた。



道祖神塚

◆4か所の貼り札護符(シール)を集めて! 技芸上達・障害難病克服・縁結「四ノ宮めぐり」◆



人康親王座像

平家琵琶



明正天皇御物 天兒



聖徳太子作と伝わる聖観音が本尊

3 十禅寺



山伏かしの
ホラ貝と梵天をあしらった
ストラップ守五百円

仁明天皇の第四皇子、人康親王を開山として八五九年に創建されました。第四皇子だったことから、四宮泉水町と呼ばれ、大きな泉が湧いていました。創立は二五五年以上前と古く、度々の戦火により荒廃していたのを、江戸前期に紅玉真慶が再興し、一六五五年、真慶に帰依した女帝、明正天皇が、霊夢を見て堂を寄進しました。十一月三日に護摩炊き法要があります。

親王が、悔しさに地面を足でこするとみるみる泉がわき出した、という御足摺水や役行者石像鎌倉期石仏群、山荘庭石らしき、珍石があります。



H26.2月祠胸部を新調

表

裏

諸羽神社 十禅寺 徳林庵

十禅寺の奥隣、JR高架の脇にあり、明治時代に整備された宮内庁墓の一つ。こじんまりとした整った面持ちの墓です。明治以前は十禅寺の敷地だったことや、塚中央に立つ供養塔の時代からみて、十禅寺関係者の高僧の墓とみる方が妥当ですが、この地で人康親王を拜めば、技芸上達・障害難病克服・縁結びなど、きつといろいろな願いを叶えてもらえます。



駐車場の奥にある

4 人康親王宮内庁墓

人康親王を先祖とする四宮家出身の雲英正怡禅師が南禅寺の住職を勤めた後、隠居のために創建。地蔵は地元住民が守っていました。四宮善兵衛の願いで、一七〇〇年以降は徳林庵が守ることとなりました。地蔵尊は親王の化身ともいわれ、八五二年、冥界で閻魔大王に仕えていたという伝説の持ち主、小野篁作と伝わりま。



右端の前掛けをめくると琵琶を持ったお地蔵様



蝉丸と人康親王の御霊を慰む供養塔



京都六地蔵の一つ山科(四宮)地蔵を守る

※諸羽神社琵琶絵馬、徳林庵琵琶守、十禅寺ストラップ守は、障害者サービス事業所「いしづみ」で製作しています。

弦楽上達! 四ノ宮めぐり

掛け用大五百円
持ち帰り用小六百円
セット千円

1 諸羽神社

もろはじんじや

お地蔵様三御札が入った
徳林庵琵琶守六百円

創建は平安時代

2 山科(四宮)地蔵 徳林庵

やましな しのみや

人康親王を先祖とする四宮家出身の雲英正怡禅師が南禅寺の住職を勤めた後、隠居のために創建。地蔵は地元住民が守っていました。四宮善兵衛の願いで、一七〇〇年以降は徳林庵が守ることとなりました。地蔵尊は親王の化身ともいわれ、八五二年、冥界で閻魔大王に仕えていたという伝説の持ち主、小野篁作と伝わりま。

旧東海道沿いの六角堂